

Q-AOS 九州大学 アジア・オセアニア研究教育機構 ブラウンバックセミナー

Brown Bag Seminar No. 094

2023 5.10 (水) 12:10 ~ 12:50

12:10-12:15 ◆ 演者紹介
12:15-12:40 ◆ プレゼン
12:40-12:50 ◆ 質疑応答

オンライン (Zoom) 登録はこちら

https://temdec-med-kyushu-u-ac.jp.zoom.us/j/9644104104

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

心臓の研究から健康長寿、そしてワンヘルスの実現を目指して



司会：田中 俊徳 准教授 (Q-AOS 研究推進コーディネーター)

1 健康 (Health) 3 社会的責任 (Social Responsibility) 4 教育 (Education) 8 経済 (Economy) 9 持続可能性 (Sustainability)

Key Words: ミトコンドリア
心臓 硫黄
健康長寿 ワンヘルス

西田 基宏 教授
九州大学 薬学研究院 臨床薬学部門

兵庫県姫路市に生まれました。東京大学薬学部、大学院薬学系研究科で心臓が酸化ストレスを感知し、いち早く応答する機構を研究し、その成果が Nature 誌に掲載され、2001 年に博士 (薬学) 学位を取得しました。その後、自然科学研究機構・岡崎生理学研究所で助手を 3 年務めた後、九州大学大学院薬学研究院の講師、准教授を経て 2013 年 8 月より岡崎生理学研究所の教授に就任しました。2016 年 9 月より九州大学で最初となるクロスポイントメント教授に就任し、2020 年 4 月から九州大学を主務として教育・研究に従事するとともに、九大薬システム創薬リサーチセンター「グリーンファーマ研究所」センター長として、アカデミア創薬研究にも積極的に取り組んでいます。2022 年度には、心不全治療薬やコロナ治療薬の開発に資する研究成果が評価され、西日本文化奨励賞を受賞しました。

心臓は私たちが命を授かるから死ぬまで 100 年近くの間、入れ替わることなく拍動し続ける臓器である。当研究室では、心臓のポンプ運動を構成する心筋細胞が日々曝される環境ストレスに対してどのように適応しているのか、何がきっかけでストレスに適応できなくなるのか、細胞やその構成要素 (細胞内小器官やタンパク質) の品質に着目した研究を行っている。ミトコンドリアは生命活動に必要なエネルギーを、酸素を使って産生する細胞内小器官である。近年の研究から、ミトコンドリアにおける酸素利用効率の低下が、糖尿病や老化、がん進展と関連することが明らかになってきている一方で、酸素の使いすぎも疾患発症リスクを高める原因となることがわかってきた。我々は、酸素を効率よく利用するための生体内分子として硫黄の動態に着目した研究を展開している。本セミナーでは、硫黄の代謝・動態が心臓のストレス抵抗性に及ぼす影響を紹介しつつ、全ての動物・植物や地球環境の健全を一体として考えるワンヘルス構想への貢献についても考察したい。

Contact Information Kyushu University Institute for Asian and Oceanian Studies (Q-AOS) 744 Motooka, Nishi-ku, Fukuoka-City, 819-0395, JAPAN Tel: +81-92-802-2803

Q-AOS 九州大学 アジア・オセアニア研究教育機構 ブラウンバックセミナー

Brown Bag Seminar No. 095

2023 5.17 (水) 12:10 ~ 12:50

12:10-12:15 ◆ 演者紹介
12:15-12:40 ◆ プレゼン
12:40-12:50 ◆ 質疑応答

オンライン (Zoom) 登録はこちら

https://temdec-med-kyushu-u-ac.jp.zoom.us/j/1254571857

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

総合知とデザイン —未来を妄想し、勝手に表現する



司会：横田 文彦 准教授 (Q-AOS 研究推進コーディネーター)

4 教育 (Education) 5 社会的責任 (Social Responsibility) 10 経済 (Economy) 17 持続可能性 (Sustainability)

尾方 義人 教授
芸術工芸学研究院 未来共生デザイン部門

1966 年丙午で神戸市に生まれました。九州芸術工科大学を卒業して、3000 人くらいの会社のデザイン部で働いたあと、従業員 5 人のデザイン事務所を立ち上げました。その後大阪大学で学位をとった後、九州大学芸術工芸学部に着任しました。現在は実務で実践してきた工業デザイン・情報デザイン・空間デザインでの方法を利用し、芸術工芸学部の未来共生デザインコースで、デザインの方法論・デザインの思考法を使って未来社会をどう作っていくのかを教育しています。また社会包括デザインイニシアティブというところで、ジェンダーや障害から多様性を考えていく仕事をしています。さらに 大学本部 伊都の組織では未来社会デザイン統括本部とデータ駆動イノベーション推進本部やネガティブ・エミッション・テクノロジー研究センターに所属しています。これまでのデザインの方法論を使いながら、新しい未来社会を様々な部局と連携してすすめています。

技術と未来社会がどうなっていくのか、どうあるべきかやどうするべきかではなく、まずは表現してみました。それにより、様々な対話や気づきや可能性を見出しました。技術の答えでも、成果物のデザインでもありません。楽しい未来を考えるためのデザインからの投げかけです。こういった方法が未来構想デザインとなっていきます。ダイレクト・エア・キャプチャー技術が工業化され、社会に浸透していくとどうなるか。あるいは社会と技術の関係を考えるにはどうすればいいかを、表現します。プロダクトを勝手にスタイリングしました。内部がどのように成るかも想定しながら、勝手にデザインしました。ビジネスモデルも考えて、ホールディングスカンパニーも勝手に作り、様々な関連会社も勝手に作りました。どうしてそのようなことが必要なのかデザイン表現の立場から説明します。

Contact Information Kyushu University Institute for Asian and Oceanian Studies (Q-AOS) 744 Motooka, Nishi-ku, Fukuoka-City, 819-0395, JAPAN Tel: +81-92-802-2803

Q-AOS 九州大学 アジア・オセアニア研究教育機構 ブラウンバックセミナー

Brown Bag Seminar No. 096

2023 5.24 (水) 12:10 ~ 12:50

12:10-12:15 ◆ 演者紹介
12:15-12:40 ◆ プレゼン
12:40-12:50 ◆ 質疑応答

オンライン (Zoom) 登録はこちら

https://temdec-med-kyushu-u-ac.jp.zoom.us/j/9644104104

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

YouTube を活用した教育の長所と短所



司会：キム シューマツハ 准教授 (Q-AOS 創発推進コーディネーター)

4 教育 (Education) 12 持続可能性 (Sustainability)

Key Words: 教育
YouTube STEM
国際

ロバートソン・アンドリュー 准教授
九州大学 工学研究院 工学部 (附)

ロバートソン・アンドリュー先生は英国出身で、1998 年に化学の博士研究員 (ボスドク) として九州大学にきました。2 年間研究を続けた後、自身の会話 / サイエンス英語学校を設立し、10 年間運営しました。2010 年に国際化拠点整備事業 (グローバル 30) プロジェクトの一員として九州大学に戻り、現在は留学生と日本人学生に化学とサイエンスコミュニケーションを教えています。2021 年には、YouTube を使用して世界中の視聴者に化学を教える方法を研究するための研究助成金が授与されました。ロバートソン先生が運営する「Three Twentysix」と呼ばれる YouTube チャンネルは現在、アメリカ、イギリス、インド、フィリピンなど、世界中から 700 人の登録者がいます。現在、ロバートソン先生は自身が作成した英語ビデオテンプレートを使用して、基本的な化学とサイエンスを説明するための YouTube チャンネルを拡大することを計画しています。

多くの問題があるにもかかわらず、YouTube は有用な教育ツールになり、選択できるほぼすべてのトピックを説明するビデオが世界中に存在します。教育者にとって、YouTube は世界中、いつでもどこでもインターネットに接続できる人なら誰にでも質の高い授業を提供できる可能性を秘めています。しかし、YouTube には非常に多くの動画が存在するため、どんなによく教えられたとしても、残念ながらほとんど再生回数で動画が消えてしまう可能性ははるかに高いのです。本発表では、YouTube を教育メディアとして使用する際の多くの困難や短所について説明しますが、突き詰めて検討し、アイデアや創造性を活用した少々の工夫で、Youtube での教育を世界中に伝える方法や長所についても紹介します。

Contact Information Kyushu University Institute for Asian and Oceanian Studies (Q-AOS) 744 Motooka, Nishi-ku, Fukuoka-City, 819-0395, JAPAN Tel: +81-92-802-2803

Q-AOS 九州大学 アジア・オセアニア研究教育機構 ブラウンバックセミナー

Brown Bag Seminar No. 097

2023 5.31 (水) 12:10 ~ 12:50

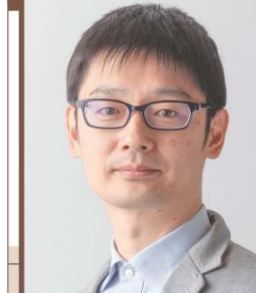
12:10-12:15 ◆ 演者紹介
12:15-12:40 ◆ プレゼン
12:40-12:50 ◆ 質疑応答

オンライン (Zoom) 登録はこちら

https://temdec-med-kyushu-u-ac.jp.zoom.us/j/9644104104

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

ESG 経営が企業財務パフォーマンスに与える影響について



司会：Scott Valentine 教授 (Q-AOS 研究推進ディレクター)

8 経済 (Economy) 12 持続可能性 (Sustainability)

Key Words: ESG 経営
マテリアリティ 新国富
人的資本 ウェルビーイング

藤井 秀道 教授
九州大学 経済学研究院

福岡県筑後市出身です。2009 年に広島大学大学院国際協力研究科で博士号を取得。学位取得後、米国テキサス大学オースティン校、東北大学、株式会社富士通研究所、長崎大学を経て、2018 年より経済学研究院で准教授として勤務。2022 年より総長補佐、2023 年 2 月より教授に就任しました。研究テーマは企業の環境経営と財務パフォーマンスの関係性分析です。人社会共通の課題にも携わっており、2023 年 4 月から社会系副専攻プログラム SDGs セミナーを開催しています。

最終学歴
2009 年 広島大学大学院国際協力研究科博士課程修了
職歴
2009 年 日本学術振興会 特別研究員 (PD)
2013 年 株式会社富士通研究所 研究員
2014 年 長崎大学 准教授
2018 年 九州大学経済学研究院 准教授
2022 年 九州大学 総長補佐
2023 年 九州大学 大学院経済学研究院 教授
受賞
令和 3 年度学術振興会文部科学大臣表彰「若手科学者賞」を受賞
書籍
藤井 秀道 著「2021 年」『幸福の測定ーウェルビーイングを測る』中央経済社

持続可能な経営を達成する上で、非財務資本 (人的資本、社会関係資本、自然資本) の適切な管理や情報開示の重要性が高まっており、企業の環境 (E)、社会 (S)、ガバナンス (G) の 3 要素を重視した経営である ESG 経営の取り組みが世界的に進んでいます。本セミナーでは、ESG 経営が、企業の利益や企業価値に与える影響について紹介いたします。特に、企業の事業活動に対して強く関連する社会課題を特定するマテリアリティ分析の重要性とその効果について過去の学術研究から得られた知見を共有いたします。

Contact Information Kyushu University Institute for Asian and Oceanian Studies (Q-AOS) 744 Motooka, Nishi-ku, Fukuoka-City, 819-0395, JAPAN Tel: +81-92-802-2803